

三保街道まち並みミーティング

折戸地区公開意見交換会

1.開催日時

平成 26 年 9 月 19 日(金)、午後 3 時～5 時

2.開始場所

折戸生涯学習交流館 2 階 会議室

3.出席者

市民 三保街道沿道の住民・事業者等 7 名

コーディネーター 川口宗敏氏 静岡文化芸術大学名誉教授

アドバイザー 天野光一氏 日本大学工学部まちづくり工学科教授

東恵子氏 東海大学海洋学部環境社会学科教授

事務局 静岡市 建築総務課 3 名

静岡市 関係課 7 名

〔文化財課、観光・シティプロモーション課、道路計画課、道路保全課、清水〕
道路整備課

(株)創建 2 名

4.次第

(1)あいさつ

(2)資料説明(目的、三保街道の現状・将来等)

(3)意見交換

(4)あいさつ

5.議事録

(1)あいさつ

事務局 (あいさつ)

(2)資料説明

事務局 (パワーポイントと配布資料を用いて説明)

(3)意見交換

川口名誉教授 道路空間は行政が進めますが、民地側については皆さんで進めていく部分になります。三保街道の景観について、また、これから行おうとしていることなどに対して、ご意見や感想はありますか。

市民 今後折戸2工区の工事が進められるということですが、今も工事が行われていて、そのためにかなり渋滞しています。今後も同じようなことが続くのでしょうか。

事務局 できる限り渋滞がおきないように努めたいと思いますが、交通規制が必要な工事もあります。夜間工事も含め、近隣の方々に負担の少ない進め方を検討しますが、渋滞を全く起こさずに工事を進めることはできません。

市民 事業者にとって、看板はお客様を呼ぶために必要で、無くすことはできません。他都市ではどのような取り組みをしているのでしょうか。

天野教授 看板を無くしてしまうことは一般的ではありませんが、一定の制限を設けないと皆が他より目立たせようとするため、きりが無くなります。看板の大きさや、文字・図・地の色、電飾や写真の使用の制限について、皆でルールを決めることが必要です。

東教授 大阪の道頓堀や東京の歌舞伎町は、看板が町のイメージをつくっていますが、三保はそのような町ではありません。どのような大きさ、色にするかを皆さんで話し合っ
て決めることで、ルールを守っていくことができるのではないかと思います。

市民 看板だけでなく、どのようなまちなみをつくるか考えなければならないと思います。三保には高い建物は
ありません。建物正面を綺麗にするような事例もあるようですが、看板の大きさと色と同じように、建物の高さ
と色の基準を設けることが必要だと思います。
また、三保街道はこの地域の主要な道路なので、早急に4車線化を行って頂きたい
と思います。

市民 電線を無くしていくことは良いことだと思いますが、現在の三保街道は、歩道が狭
い割に車道が広く、とても中途半端です。車道はともかく、歩道を広げて欲しいと思
っています。
また、折戸湾に橋を架ける計画について以前聞いたことがありますが、この話はど
うなったのでしょうか。これが出来れば、環状道路になって渋滞が解消すると同時
に、橋から富士山を眺めることもできると思います。

市民 三保街道沿いの建物及び看板の高さ規制が必要だと思っています。ただし、既存
の看板を掛け替えるには費用がかかるため、皆で揃って進めることは難しいと思
います。また、電線の地中化は、景観だけではなく防災の視点で進めるべきではな
いかと思います。
観光客にどうアピールするかについては、既存のまちなみを整備することは容易で
ないため、新しくつくる羽衣海岸線に比較的厳しい基準を設けて、開通を急ぐべき
だと思います。三保街道の整備だけでなく、複数の事業を同時に進めて頂きたい
と思います。

川口名誉教授 既存看板の掛け替えを一斉に行うことは困難で、看板の更新のタイミングで基準
への適合を求めることになると思いますが、掛け替えに対して補助を設けるかどう
かなども検討が必要だと思います。

市民 看板については、皆で話し合っ
て高さや色のルールを決めていけば良いと思
います。また、観光だけでは成り立たない
と思うので、企業の誘致も考える必要
があるのではないのでしょうか。道路の
整備については、三保街道と羽衣海
岸線の双方を同時に進めることが理
想ですが、計画が何度も延期になっ
ている現状を考えると、

- どちらか一方を優先して進めるべきではないでしょうか。
- また、三保松原に関する窓口が増えてしまって、自治会としてはどこへ話をすれば良いのかわからない状況です。窓口を一本化して欲しいと思います。
- 川口名誉教授 三保松原に関連して、現在複数の委員会が動いていますが、これらを一本化して進めるべきだという意見が、内部からも出されています。今日頂いたご意見については、事務局がお預かりし、反映させて頂くことになると思います。
- 市民 当行は、昨年 20 周年を迎えた建物ですが、三保という場所を意識して、灯台をイメージしたデザインになっています。景観に配慮した色などの規制はいたしかたないと思いますが、コーポレートカラーである「青」を使用できるように、配慮頂ければと思います。また、下水道工事等で渋滞が非常に多いため、出来る限り渋滞が発生しないように配慮して頂きたいです。
- 市民 平成元年の開店当時は企業も学生も多く、繁盛していましたが、今は人も売上も減少しています。道路が拡幅される際に、どの程度土地を取られて、拡幅後に商売を続けられるのかどうか分かりません。規制を設けることは賛成ですが、現実問題として店を続けることができるのかどうか、いつ工事が始まるのかはつきりと知りたいです。拡幅や電線の地中化に莫大な費用がかかることは理解しているつもりですが、第一段階として工事のし易い横断架空線の撤去を行うのではなく、土地の買収や拡幅、電線の地中化を進めて欲しいと思います。
- 道路計画課 三保街道の無電柱化事業は、現在折戸 1 工区において土地の買収を進めている段階です。概ね現況 14m の道路を 20m に拡幅する計画ですが、その土地の場所に応じて影響範囲が異なりますので、個別にご相談頂ければ回答させて頂きます。折戸 2 工区から先については、世界文化遺産登録を受けて、事業の前倒しをするべく準備を進めているところです。なお、実際に事業着手が決定した場合、1 工区辺り約 15 年の事業期間が必要と思われる。
- 市民 また、ご意見の中で三保街道と羽衣海岸線どちらか一方に注力すべきではないかとのお話がありましたが、双方とも積極的に進めていきたいと考えています。羽衣海岸線が出来ることによって、三保半島の道路が環状になるため、渋滞緩和に繋がると考えています。
- 市民 道路の拡幅と無電柱化の事業は、同時に進められるのでしょうか。
- 道路計画課 電力会社や通信事業者など、電線の管理者と調整して進める事業になりますので、現段階ではっきりしたことは申しあげられません。
- 川口名誉教授 皆さんの意見を伺っていると、規制の内容はともかく、話し合いで看板等に関するルールを定めることについては賛成の方が多いのではないかと思います。次に、このルールをどのようにしてつくるかが問題になりますが、このルール作りのために地元の組織をつくり、検討作業を進めることは可能でしょうか。
- 市民 地元だけで意見をまとめることは難しいと思います。最初に専門家の方に色や大きさのルール案を出して頂いて、それを基に話し合いを進めるのが良いと思います。
- 東教授 現在進めている折戸緑地公園の整備に関するワークショップのように、案を示しながら意見交換を進めることが必要なのだと思います。
- 市民 景観のルールについて、掛川市のようにお城があって、廻りの建物を城下町の雰

- 困気で揃えるということであればわかりやすいですが、三保は富士山を目標にまちなみを揃えると言われても、漠然としていてイメージが湧きません。何かしら案を提示して頂かないと、進まないのではないのでしょうか。
- 東教授 三保松原をどう守り育てていくのか、どのようなまちづくりをしていくのか、解決すべき問題は多いですが、何をするにも今がチャンスだと思います。看板に限らず、まちづくり全体について、ワークショップのような形で検討を進めたほうが、何事もスムーズに進むのではないかと思います。
- 事務局 現在計画している歩道は、電線の地中化などの影響で植栽を植えることが難しいのですが、先月実施した三保地区の意見交換会において、歩道に植えられないのであれば、民地側に松の植樹を推進したらどうかという意見が出されました。この件についてご意見をお聞かせ下さい。
- 市民 拡幅後の道路は 4 車線の車道が計画されていますが、車道は現状のままで良いので、歩道を拡幅して欲しいです。現状の歩道は狭くて凹凸があり、シニアカーが歩道を通行できず、やむを得ず車道を走行している状況で、非常に危険です。羽衣海岸線があり、さらに折戸湾に橋が架けられれば、三保街道を 4 車線化する必要はないと思います。
- 道路計画課 横断架空線撤去事業に関する説明資料の 3 ページに記載の通り、拡幅後の三保街道の道路幅員は 20m となり、歩道は片側 3.5m で計画していますが、歩道部分に上下水道や電線等を埋設するため、街路樹は計画していません。
車線数については、資料 1 の 3 ページに記載の通り、調査結果を基に計画したもので、4 車線の車道が必要と考えています。
- 市民 街道沿いには、松を植えられる庭があるような土地は少ないと思います。
- 市民 実際に銀行の前に松を植えています、松葉の処理など管理が大変で、一般の民家に松の植樹を課すのは負担が大きいと思います。
- 天野教授 三保街道は、三保松原にアクセスするメインのルートです。三保松原だけでなく、三保街道から見た富士山も写真を撮りたくなるような場所にして欲しいと思いますので、地元で検討して、ルールを決めて欲しいと思います。
- 市民 静岡市は県に対してもっと積極的に話をして、事業を推し進めて欲しい。
- 東教授 住民が居心地の良いまちづくりを進めることが、観光客が心地よいと感じる空間に繋がると思っています。地元の人たちにとって、無理のないルールを自らの手で決めて頂ければと思います。
- 事務局 今日頂いたご意見は、今後の計画とまちづくりを進める上での参考にさせていただきます。なお、今日の説明で看板を全て取り去ったイメージをお出したのは、どのような看板につくり変えるべきかを一から考えるために作成したもので、決して看板が不要だと考えているからではありません。その旨ご了承ください。
- 事務局 それでは、これで本日の意見交換会を終了します。

以上